

「偏食からのはじめの一步」プロジェクト ～子供たちの「もの」「ひと」「こと」に関わる力の変容をめざして～ (第5回食育活動表彰 農林水産大臣賞受賞)

認定こども園 武庫愛の園幼稚園 (兵庫県)

武庫愛の園幼稚園では、食材という「もの」に対する子供の向き合い方が変わることによって「ひと（人間関係）」や「こと（活動）」に対しても変容が見られるのではないかと仮説を立て、教育・保育の実践に取り組んでいます。

保護者アンケートなども活用しながらテーマを選定し、実物大の青魚のパネルや体の中の血管に見立てたホースなど、子供たちが驚き、興味を持つような手作りの教材を使うほか、「給食のおばちゃんのお手伝い」と称して、フキの筋取りなどを子供たちが行う体験を通して、食材との距離感が縮まり、好き嫌いなく様々な食べ物に自ら関わろうとしたり、食べることへの意識が高まったりする姿が見られるようになりました。



フキの筋取りのお手伝い

また、食べる楽しさや喜びを感じることが、園生活全体の充実や子供たちの自信にもつながっている様子で、様々な遊びや友達に自ら興味や関心を持って関わろうとしています。さらに、自分なりにいろいろなことに挑戦してみようとするなど、子供たちの姿が変容してきたと感じています。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大下で臨時休園をした際には、「箸使い」や「台拭きの使い方」を動画配信するなど、新しい食育活動にも力を入れました。そのことにより、親子で一緒に「箸を使って食べる」という日本の食文化に触れる体験や、食事の準備に関わるなど子供たちが自分たちで生活のために必要なことを進んで行おうとする意識にもつながっています。



手作り教材を用いて
「箸使い」をリモートで学ぶ

今後は、これまでの食育活動を継続しながら、新たに実施した動画配信やリモートの手法を用いた教材研究を行い、園内で実践するとともに、他の園等にもその取組内容を発信していきたいと考えています。